

奥多摩初記録のカミキリ2種

郷 遠

次の2種のカミキリは東京都下奥多摩からは初記録と思われるので、記録を発表しておく。

1. クビアカトラカミキリ

*Xylotrechus rufilius* BATES

1♀, 奥多摩本谷, 1. VIII. 1976, 郷昌志採集

2. クリストフコトラカミキリ

*Plagionotus christophi* (KRAATZ)

1♂, 奥多摩本谷, 1. VIII. 1976, 郷昌志採集

いずれも本谷最終地点の土場で、ミズナラの伐採木にいたものである。

(☎162 新宿区南山伏町5)

阿武隈山地のカミキリ2種

大桃定洋・池田清彦

筆者らはかねてより阿武隈山地の昆虫相調査を進めており、さきに興味ある分布を示す数種のカミキリについて報告した<sup>1)</sup>。今回、さらに下記の2種の興味あるカミキリが分布することを見い出したので報告する。

1. カエデヒゲナガコバネカミキリ

*Molorchus ishiharai* OHBAYASHI

3♂♂1♀, 福島県原の町市横川溪谷(標高約150m),

3. V. 1978



イヌシデの花上から、多くのオダヒゲナガコバネカミキリ *M. gracilis* やコジマヒゲナガコバネカミキリ *M. kojimai* とともに得た。本種は従来、四国・中国地方、東海地方の一部と長野県下および日本海沿岸の北陸・東北・北海道地方とから記録される裏日本分布型〔関東地方を飛び越した分布<sup>2)</sup>〕の典型的種として

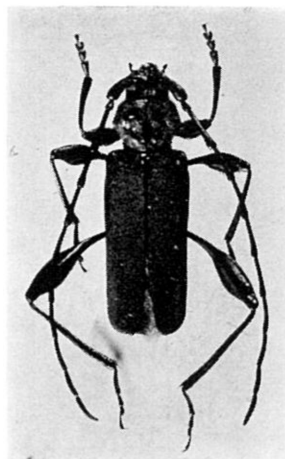
知られ、関東から東北にかけての太平洋沿岸の地方に分布することはまったく知られていなかった。本州における東限の記録と思われる。

2. クロヒラタカミキリ

*Rhopalopus signaticollis* SOLSKY

9♂♂5♀♀, 福島県原の町市横川赤根林道, 27~28 V., 3~4. VI. 1978

コナラ, ミズナラ, クリなどを主とする山土場(標高約400m)で得た。本種は北海道から南アルプスまで局所



*Rhopalopus signaticollis* ab. *abukumensis* nov. OHMOMO et IKEDA

的に産するものの、福島県南会津地方以外の地においてはいずれも稀な種のようなものである。新産地として報告する。

なお、上記の採集個体中に写真に示したような前胸部がすべて朱赤色を呈する1♂が含まれていた。本種にこのような型が出現することはまったく知られていないので、これに ab. *abukumensis* nov. と命名したい。

最後に、常日頃から種々のご教示をいただいている黒沢良彦博士、田添京二先生および露木繁雄、高桑正敏の両氏に深謝する。

○参考文献

- 1) 大桃定洋(1977): ELYTRA, 5(2), p.44
- 2) 高桑正敏(1978): 甲虫ニュース, 41号, pp.1~4) (大桃: ☎300-11茨城県稲敷郡阿見町荒川沖 953-502) (池田: ☎302 茨城県取手市江頭 9-19-10)

また、たくさんの原稿が集まったために編集後記が書けなくなりましたが、これはこれで大変よいことだと思います。

本誌では短報欄(稿虫)にも力を入れております。今回はちょっと意識的に、高桑正敏氏が「甲虫ニュース」No.41(1978)に書いた「関東地方を通り越したカミキリたち」という文の例外的な採集記録を集めてみました。この他にケブカヒラタが栃木県の古河で採れており、フタスジゴマフも奥多摩で最近得られているという話です。この高桑氏の報文をまだ読んでいない方には御一読をお勧めします。かなり面白い分布論です。

(1978年11月1日, 藤田 宏)

ELYTRA Vol. 6, No. 2

昭和53年11月10日 印刷  
昭和53年11月12日 発行

編集者 藤田 宏  
発行者 草間 慶一  
発行所 日本鞘翅目学会

Japanese Society  
of Coleopterology

東京都台東区東上野4-26-8  
福田惣一方(〒110)

c/o, FUKUDA, 4-26-8,  
Higashi-Ueno, Taitō-ku,  
Tōkyō Japan

印刷 憐大和印刷